

CP 児の家庭療育の試み

本文は、母親が家庭で CP の子供をどの様に Handling しながらケアし、遊ぶかを、指導した症例研究である。

Bobath 法は、理学的 handling と遊びを通じて、異常な姿勢反応や筋緊張を防ぎ、正常な姿勢反応と筋活動の発達を促すための手技といえる。その意味からも子供が多く時間（経験）のすごされる家庭での、母親による療育は、Nancie R. Finnie の著で見る様に重要である。そこで著者らは、8.5 カ月で Athetoid 型 CP と診断され、その後毎週 2 回、一回一時間の割で、著者らの勤務するクリニックで訓練を続け、クリニックでの訓練効果がほぼプラトーに達した 2 歳の CP 児を対象に、更に 2 カ月間の母親の家庭療育に対する存宅指導を行った。対象児は重度の Athetoid で存在当初の一日の生活時間は、睡眠 15 時間、高い背もたれの椅子上での遊びと T.V. が 6~7 時間で、母親はその他の食事や特に緊張の高まる時（チョークでの書字等）計 2~3 時間を handling していた。高背椅子上では ATNR が強く、異常肢位のままですごし、睡眠中の肢位も異常で寝息が

乱れていた。

家庭での食事肢位は、呼吸と咀嚼、嚥下運動を楽にし、ムリなく handling する事を目的に種々の肢位を試み、結局ソファに腰かけた母親の膝上に子供を坐らせる事とした。

一人遊びの良肢位については、側臥位での handling で緊張が取れ、3 日間の訓練で、まくらを前後に置くのみでこの良い状態が保て、刺激の少ないオモチャや TV ではほぼ正常な筋緊張で遊べる様になった。

睡眠中も側臥位では寝息が静かとなり、2 週間の習慣づけで 75% の睡眠時間を側臥位で取る様になった。

外出、買物へはヘルパーの援助を要したが更衣は母親の膝上で簡単に出来た。

一回 6.5 時間計 28 日の訪問と、計 184 時間のクリニックでの訓練結果は 7 カ月後の Follow-Up でも、有効であったと報告している。

Nancy B. Tyler, Nancy Kahn: A Home-Treatment Program for the Cerebral-Palsied Child, AJOT, 30 (7) 437~440 1976.

(横浜市大リハ科、作業療法士 生田宗博)

四肢麻痺患者の W/C 推進力

本文は W/C の処方規準を示す実験データを得るための研究である。

方法； 対象者は脊髄完全損傷四肢麻痺患者で損傷レベル範囲は C₅~T₃、年齢は 19 歳から 58 歳である。この研究のため E&J 社のユニバーサルタイプの W/C が患者に合わせて作られ 8 インチキャストの前輪と 20 インチソリッドタイヤの後輪とハンドリムからなる。走行速度は Corcoran と Brengelmann によって規定された方法で設定した値の 2% 以内に制御し 3m を越えてスピードコントローラより遅れた場合、その速度を維持できないものとみなした。

実験 1； 5 回、各速度で W/C 走行させ、各々の場合の走行した最大距離を測定し速度と走行距離の関係をグラフにした。C₇ 一部と C₈ 及び T₁ の全ての患者は 70 m/min 以上の速度で 1,000m 走行できた。

実験 2； 12 人の四肢麻痺 (C₅ 3人, C₆ 4人, C₇ 4人, C₈ 1人) に角度調節可能な傾斜台を 10 フィート上の踊り場まで W/C 走行させた。C₇ 以下の損傷者は

ほとんどが 10° 以上のスロープを走行できた。

実験 3； ここでは各種ハンドリムによる上肢力の伝達効果を実験、検討した。使用したハンドリムは斜方ノブ付き、垂直ノブ付き、ゴムチューブをらせん状に巻いたもの、プラスチックで覆ったものの四種である。被験者は 11 人で、8 人は四肢麻痺 (C₅ 2人, C₆ 3人, C₇ 2人, C₈ 1人), T₃ 対麻痺が 1 人、健常者が 2 人であった。C₅ や C₆ の患者は斜方ノブのとき最も効果的で次に垂直ノブであった。C₇ 以下ではその逆でゴムチューブを巻いたものが最も効果的であった。以上のデータから臨床の場で患者の W/C 走行能力を評価しこの評価にて W/C を使用する環境の場で W/C を効果的に使用できるか、電動 W/C にするかの判断の助けとすべきである。

Justus F. Lehmann, et al.: Wheelchair Propulsion in the Quadriplegic Patient. Arch Phys Med Rehabil, 55 (4), 183-186, 1974.

(神奈川総合リハビリテーションセンター、理学療法士 植松光俊)